

第62期

2021年度
(2021年7月1日～2022年6月30日)

環境経営レポート

発行日 2022年12月16日

ビルの総合管理を通じて社会に貢献します



ありがとうがいっぱいの総合ビル管理

ひろしま管財株式会社

<https://www.hr-kanzai.co.jp>

目次

はじめに～SDGsに取り組もう、SDGsへの取組紹介	3
1.会社概要	6
2.事業の特色～ひろしま管財のこだわり	7
3.対象範囲、役割・責任・権限	10
4.環境経営方針	11
5.環境経営目標（3ヶ年）	12
6.環境経営計画(2021年度)	13
7.環境経営目標の取組み実績	14
8.環境経営目標の各実績検証と次年度への課題	15
9.環境保全活動、地域貢献活動などの紹介	18
10.環境関連法規等の遵守状況	20
11.代表者による全体評価と見直しの結果	21

はじめに

「SDGs(持続可能な開発目標)」に取り組もう



代表取締役 川妻利絵

国連は2030年までにSDGs（持続可能な開発目標）を世界全体で取り組むよう勧めています。最近ではテレビや店舗でも見かけることが多くなりましたが、自然、人、環境、働き方等々あらゆるものが継続的に課題解決することを目指しています。そこには17個の項目がありそれぞれ取り組めるものを各企業、各個人で取り組みます。最近では子供たちも学校でSDGsを学ぶ授業もあるそうです。子供たちにとって将来を考えたとき不安要素もまだまだありますが、新型コロナや地球温暖化の甚大な被害など、いち早く対応している企業こそが生き残れる時代が来ているといっても過言ではありません。

- 目標5 ジェンダーの平等を達成しすべての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 目標6 すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する
- 目標7 手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 目標10 国内および国家間の不平等を是正する
- 目標11 都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
- 目標16 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する
- 目標17 持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する



当社ではこの7つが現状取り組んでいることに近いと思います。現在弊社は男性・女性の公平な活躍、高齢者も若者（学生）も働いている環境、障がいを持たれている人も元気に仕事をしてくれています。またインドネシアからの技能実習生はもちろんの事、フィリピン・ブラジル・ケニアといった国の人も現場で働いてくれています。大きなことを目指さなくても身近な小さなことを一人一人が取り組んでいくことが地球を守ることにつながるのだと思います。ビルメンテナンス業界としても今SDGsに取り組むよう動き出しています。他人ごとではなく自分事として取り組んでいきましょう。

○SDGsとは

・SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」のかしら文字を取ってエス・ディー・ジーズと呼ばれています。

・SDGsは2015年9月に国連本部で193の加盟国の全会一致で採択された『2030年まで気候変動や格差などの課題を解決を目指す』17の目標(ゴール)のことです。

○SDGsの17の目標



○SDGsの活用によって広がる可能性(なぜ、取り組むのか)

社会の課題への対応

SDGsには社会が抱えている様々な問題が網羅されていて、今の社会が必要としていることが詰まっています。これらの課題への対応は**経営リスクの回避**とともに**社会貢献や地域での信頼獲得**にも繋がります。

企業イメージの向上

SDGsへの取組をアピールすることで、多くの人に「**この会社は信頼できる**」、「**この会社で働きたい**」という印象を与え、より多様性に富んだ**人材確保**にもつながる可能性があります。

生存戦略になる

取引先のニーズ変化や新興国の台頭など企業の生存競争はますます激しくなっています。今後は、SDGsへの対応が**ビジネスにおける取引条件**となる可能性もあり、**持続可能な経営を行う戦略**として活用できます。

新たな事業機会の創出

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たに事業の創出など、今までなかった**イノベーションやパートナーシップ**を生むことにつながります。

《ひろしま管財のSDGsへの取組紹介》

テーマ	主な取り組み事項	関連する代表的なSDGs
全ての多様な人たちがともに活躍できる社会の実現	①男女共同参画社会 ②両立支援事業 ③同一労働同一賃金 ④技能実習生受入、外国人労働者雇用 ⑤障害者・高齢者雇用 ⑥経済同友会ダイバーシティ委員会	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に
事業を通して持続可能な社会の実現	○総合ビルメンテナンス事業 ①衛生管理(清掃)業務 ②設備管理業務 ③セキュリティサービス ④施設サービス ⑤LaPica(ラピカ)事業 ○許認可・資格など ①建築物環境衛生総合管理業 ②建築物飲料水貯水槽清掃業 ③警備業認定 ④産業廃棄物収集運搬業 ⑤医療関連サービスマーク ⑥消防設備協会会員 他	3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に
エコアクションへの取組	○エコアクション21活動を通じての環境負荷低減への取組実践	6 安全な水とトイレを世界中に 13 気候変動に具体的な対策を
地域貢献活動	○ビルメンテナンス協会会員 太田川クリーンキャンペーン、ごみゼロウォーク、平和公園清掃への参加 ○経済同友会ダイバーシティ委員会 ○地元学生(高校・大学生)との交流	11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう

1. 会社概要

事業所名	ひろしま管財株式会社
代表者	代表取締役社長 川妻 利絵
所在地	広島市中区大手町5丁目7番17号
環境管理責任者	事務管理部 課長 河野 淳
担当者(事務局)	事務管理部 横畑 義一
連絡先	☎ 082-243-5501 FAX 082-241-4323
従業員数	173名 (内正規社員 50名)
認証登録範囲	認証登録組織：全組織(本社及び現場)
対象期間	2021年7月1日～2022年6月30日
レポート発行日	2022年 12月16日

事業概要

期	期 間	売上高(百万円)
第60期	2019年7月～2020年6月	706
第61期	2020年7月～2021年6月	717
第62期	2021年7月～2022年6月	751

総合ビルメンテナンス事業	
衛生管理(清掃、消毒)業務	豊富な経験とノウハウでお客様の建物の維持・環境衛生管理に貢献いたします。
建築物環境衛生総合管理業免許	
建築物飲料水貯水槽清掃業免許	
産業廃棄物収集運搬業免許	
セキュリティサービス 警備業認定	利用者の立場を考えた迅速な行動と安全の確保に努めています。
建物設備保守運転管理	高い技術力でお客様の大切な建物を保守・コントロールし滴適な建物空間を維持します。
LaPica	ハウスクリーニング・整理整頓・空室対策
施設サービス	学生寮管理 学校、ご父兄、ご家族に安心をお届けします。

2.事業の特色～ひろしま管財のこだわり

○その1～衛生管理(清掃)

「清掃」を超える、「衛生管理」への取り組み

Sanitary service

ひろしま管財のサニタリーサービス

「衛生管理」への取り組む姿勢
ひろしま管財は、何のために清掃をするのか？
キレイにするため（見た目）
建物を長持ちさせるため
人が病気になりにくくする（見えない）
人の為

それが衛生管理

清掃対象は目に見えない汚れ

近年猛威を振るうコロナウイルスやインフルエンザ・ノロウイルスは
「目に見えない汚れ」が感染症を引き起こします。

目に見えない汚れ、**細菌**や**ウイルス**を取り除き、適正な処理を行う
ためには従来の清掃から一歩すすんだ衛生管理に取り組まなければならないと弊社は考えています。

衛生管理の目的は感染予防

感染予防には経路の遮断が大切



感染には経路があります。
ヒトからヒトへ、伝染する経路の
予防・消毒を私達は目指します。



○その2～洗剤はEPA（米国環境保護局）認定を使用

信頼のEPA（アメリカ環境保護局）が認定した感染防止用の除菌クリーナーを使用します。
抗生物質に耐性のある細菌 及び インフルエンザウイルス等に有効です。
中性の除菌洗剤で環境負荷及び人体への悪影響を考慮した洗剤です。



「ハイプロックスアクセル」～除菌力に優れ高い
洗浄作用を誇る。人体・環境への安全性と非残
留性。DIN(カナダ保健省)承認。国際宇宙ス
テーションの除菌洗剤に認定

○その3～LaPica(ラピカ)事業



ハウスクリーニング・整理整頓・空き家対
策など、より快適な住環境のトータルライ
フサポート。確かな教育を受けた女性ス
タッフが中心となり、お客様に安全で安心
していただけるサービスを「LaPica」ブラン
ドがご提案いたします。

・ハウスクリーニング 安心安全を生かした衛生管理を個人宅で定期的に
週1回・隔週1回・月1回等、1回2～3時間の定期清掃や単発清掃



リビング



レンジ廻り



お風呂

・プロズクリーニング

特殊技術や特殊洗剤を使用(年1～2回がオススメ)



レンジフード分解掃除



お風呂エプロン内清掃(前面パネル)



エアコンクリーニング

・整理整頓、お片付け 衣類・食器・本棚等の片付けや・先片付け(終活)のお手伝いなど、整理整頓を学んだスタッフがお手伝い

・空き家・遺品整理・不用品の廃棄処理

- ①長年の空き家がそのままになっている ②廃棄したいものがたくさんある
- ③終の棲家にするために快適にしたい ④家財道具が多くて困る

★ラピカだけの特長

Point 1

人に優しく安全な
洗剤で感染予防対策

Point 2

女性スタッフ中
心で安心対策

Point 3

マナー・整理
整頓・清掃の
独自教育

○その4～みどりのポスト

紙から始まるECO活動

- ・CO2削減 ・経済的
- ・セキュリティ ・便利

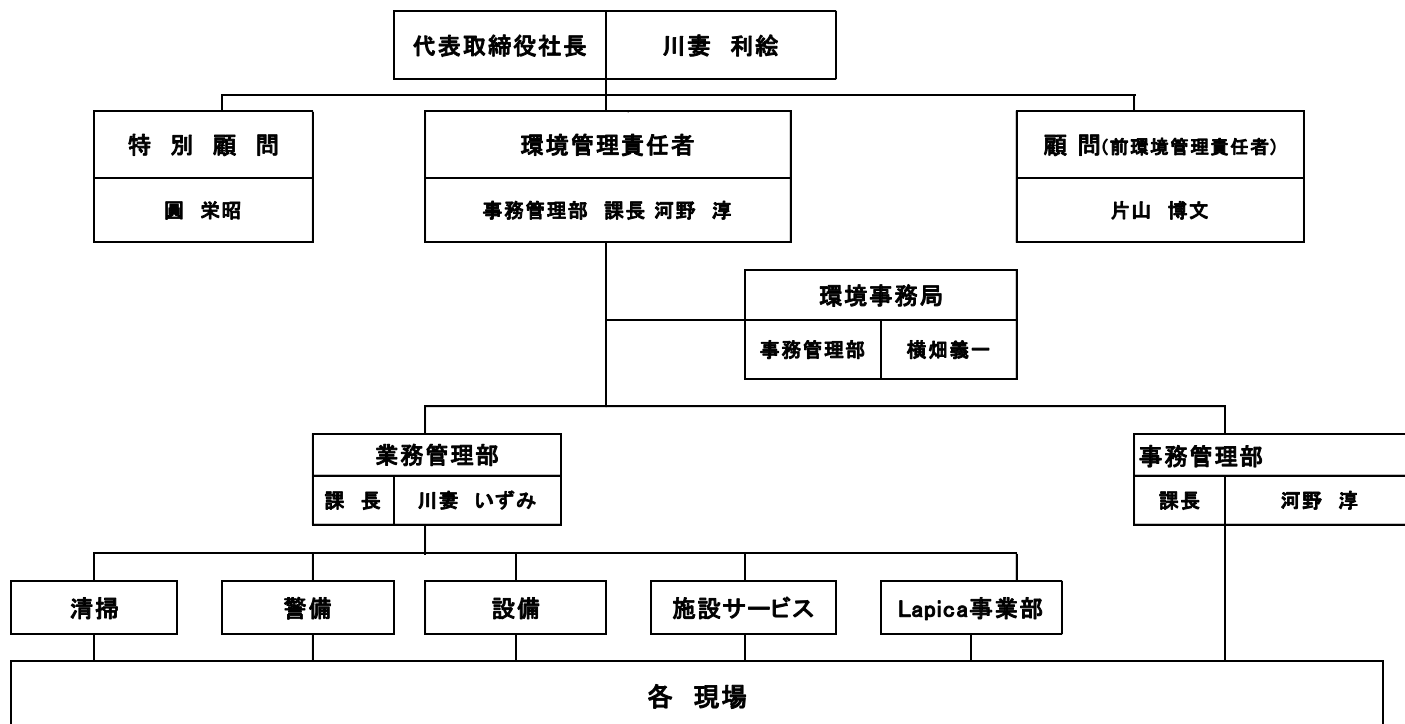


3.対象範囲、役割・責任・権限

○対象範囲～全事業所

ひろしま管財株式会社 環境経営システム組織図

2022/12/1 現在



○役割・責任・権限

役職・組織	役割
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営計画書を承認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと事務局への送付)
部門長 業務管理部 課長 事務管理部 課長	・自部門における環境方針の周知 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の従業員に対する環境活動の啓蒙 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全社員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環 境 経 営 方 針

当社は環境問題を重要な経営課題と捉え、環境に配慮した企業活動を実践することが重要な社会的責任であると認識しています。ビルの総合管理を通じて社会に貢献することを目指すなかで、利用者に快適な環境を提供すると共に、ますます深刻化する地球温暖化に対し、その責任を果たすために全従業員が参画し清掃・設備管理・警備業務での効率化により省エネ・省資源と廃棄物の削減を進め、温室効果ガス排出量削減への貢献と資源循環の促進に努めてまいります。

＜ 環境保全への行動指針 ＞

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減とリサイクル推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 化学物質の適正使用
- ⑤ 環境に配慮した資機材の利用及び販売促進
- ⑥ 労働生産性向上への取組推進
- ⑦ SDG'sへの取組推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、「エコアクション21」の定着・継続的改善を図ります。

- 2. 地域社会における環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
- 3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 4. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

2008年 12月 1日 制定

2022年 12月 16日 改定



ひろしま管財株式会社

代表取締役社長 川妻 利絵

5. 環境経営目標(3ヶ年)

環境経営 目標	基準年 2016年度	2020年度 2020.7-2021.6	2021年度 2021.7-2022.6	2022年度 2021.7-2022.6
電力のCO ₂ 排出量削減	20,121kg- CO ₂	△7% 18,713kg-CO ₂	△7% 18,713kg-CO ₂	△7% 18,713kg-CO ₂
自動車燃料の CO ₂ 排出量削減	11,905kg- CO ₂	10,000kg-CO ₂ △16%	△18% 9,762kg-CO ₂	△20% 9,762kg-CO ₂
一般廃棄物 の削減	878kg	△18% 720kg	△18% 720kg	△18% 720kg
リサイクル推進	49.8% (総排出量に 占める割合)	55%	55%	55%
水道水使用量 の削減	205m ³	△18% 168m ³	△18% 168m ³	△18% 168m ³
化学物質の適正 使用	-	-	使用量の 適正管理	使用量の 適正管理
みどりのポスト 販売	22個	24個	25個	27個
労働生産性向上 への取組推進	—	お掃除 ロボットの 実用化準備	お掃除 ロボットの 実用化準備	お掃除 ロボットの 実用化
SDGsへの取 組推進	—	—	推進スケジュール に沿った進捗	推進スケジュール に沿った進捗
消毒業務への 取組推進	—	推進スケジュール に沿った進捗	推進スケジュール に沿った進捗	—
地域貢献活動 環境美化活動 参加	15P	15P	15P	15P

6. 環境経営計画(2021年度)

項目	対象	取組内容	責任部門など
二酸化炭素排出量削減	電力	・不要照明・温水便座のスイッチOff ・温度設定、クールビズ・ウォームビズ運動 ・エレベーター使用制限 ・パソコンの省エネ設定、不要時の電源off ・教育、啓蒙(代表者、SDGs委員会)	事務管理部 SDGs委員会
	自動車	・エコドライブ運転の展開 ・急加速・急停止の防止、アイドリングストップ ・公共交通機関、自転車の利用 ・訪問先の経路・所在を考慮した同乗	業務管理部 事務管理部 SDGs委員会
廃棄物	総排出量	・書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化 ・両面・集約等の複合機の機能の活用 ・リユース活動(裏紙、封筒など)	業務管理部 事務管理部 SDGs委員会
	リサイクル比率	・分別ごみの徹底・・・リサイクルの意識の高揚 ・シュレッダー、みどりのポスト活用の推進 ・教育、啓蒙	業務管理部 事務管理部 SDGs委員会
節水	水道水	・節水意識の徹底 ・漏水点検、機器点検と修理・取替	事務管理部 SDGs委員会
化学物質の適正利用	化学物質管理	・使用量の適正管理	業務管理部
環境配慮した資機材の利用促進 (得意分野での差別化)	みどりのポスト販売促進	・客先へのPR(環境配慮製品) ・ホームページへの掲載	業務管理部 事務管理部
	消毒業務への取組推進	○消毒業務推進体制維持 ・消毒業務(薬剤、手順、道具など) ・ルール化(チェックリスト、マニュアルなど) ・要員教育(社内講師、薬品メーカーなど)の確認と見直し	業務管理部
労働生産性向上の取組推進	掃除ロボットの実用化準備	・実用化の準備・検討 ・費用対効果の検討	業務管理部
SDGsへの取組推進		・代表者の「SDGs」開始宣言 ・SDGs委員会の立上げ ・新たな地域貢献活動への取組	業務管理部 事務管理部 SDGs委員会
地域貢献	社会貢献 地域コミュニケーション	・広島市大田川クリーンキャンペーン 7月 ・広島市平和公園美化奉仕活動 8月 ・広島市ごみゼロ・グリーンウォーク 6月 ・会社周辺の定期清掃活動 年12回	業務管理部 事務管理部 SDGs委員会

7. 環境経営目標(2021年度)の取組み実績

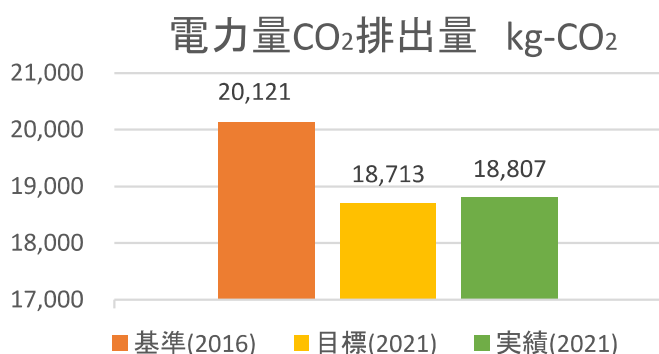
項目	環境目標	2021年度目標	2021年度実績	評価
二酸化炭素排出量の削減 ※排出係数	電力のCO ₂ 排出量削減 基準年比 ▲7%	18,713kg-CO ₂	18,807kg-CO ₂ 達成率 99.5%	×
	自動車燃料(ガソリン・軽油)のCO ₂ 排出量削減 基準年比 ▲18%	9,762kg-CO ₂	9,154kg-CO ₂ 達成率 106.2%	◎
	計	28,475kg-co2	27,961kg-co2 達成率 101.8%	○
廃棄物削減	(1)総排出量削減 基準年比 ▲18%	総排出量 720kg	713kg 達成率 101.0%	○
	(2)リサイクル推進	総排出量の 55%	54.7% 達成率 99.5%	×
節水	水道水使用量の削減 基準年比 ▲18%	水使用量 168m ³	168m ³ 達成率 100.1%	○
化学物質の適正使用	使用量の適正管理	使用量の適正管理	洗剤管理に表により 使用量を管理	○
環境配慮型資機材の利用促進	みどりのポスト販売	24個	29個 達成率 116%	◎
	消毒業務への取組推進	導入スケジュールに 沿った進捗	消毒業務 実施件数 57件 (前年比 203%)	◎
労働生産性向上の取組推進	お掃除ロボットの導入検討	実用化に向けての 対応	導入現場選定	△
SDGsへの取組推進		推進スケジュール に沿った進捗	・代表者開始宣言 ・SDGS委員会立上 ・地元学生との交流会	△
地域貢献	地域貢献活動	15ポイント	2ポイント	×

※排出係数 電気・・・中国電力2021年 CO2排出係数(0.542 kg-co2/kwh)
ガソリン ～ 2.322kg-CO2/L ,軽油～ 2.619kg-CO2/L

8.環境経営目標の個々の実績検証と次年度への課題(1)

(1)二酸化炭素排出量の削減

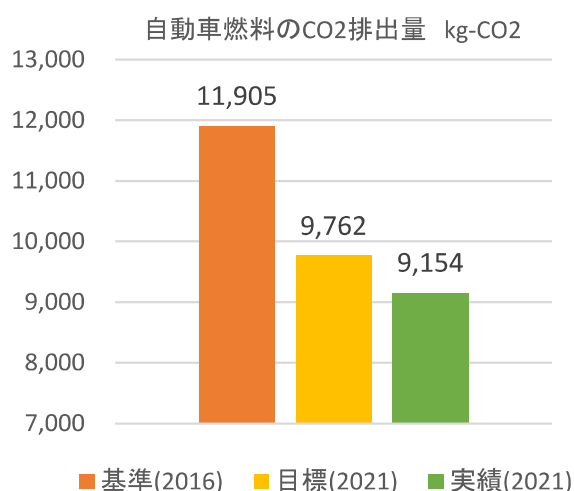
①電力



【実績検証】～コロナ対策での換気実施により、エアコン電力消費量が大きく増加。→春先以降に電力消費を抑制したが目標に届かなかった

【次年度への課題】～次年度も前年同様コロナ対応が必須と想定できるため、年度当初から電力消費抑制の呼びかけを行いたい。

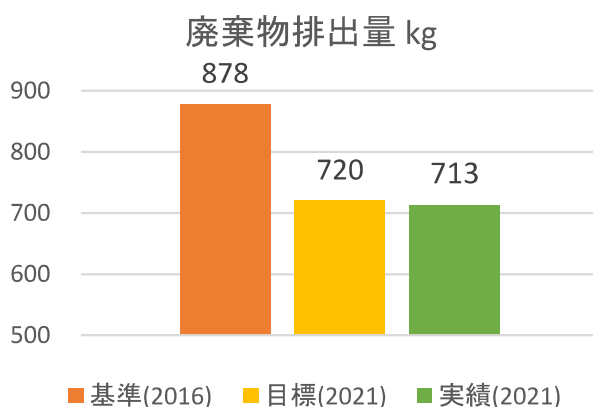
②自動車燃料(ガソリン・軽油)



【実績検証】部門や委員会が継続的に呼びかけた『エコドライブ運転、公共交通機関・自転車の利用、近隣訪問時の同乗など』が効果的であり、中間時に引き上げた目標を達成した。

【次年度への課題】～引き続き『エコドライブ運転、公共交通機関・自転車の利用、近隣訪問時の同乗』などを呼びかけて行きたい。

(2)廃棄物排出量の削減



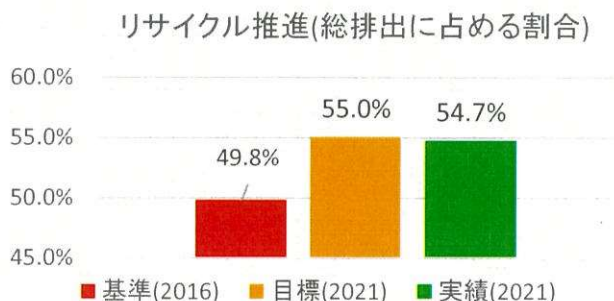
【実績検証】ゴミ分別の徹底、IT(パソコン・スマホなど)活用による書類の簡素化に取り組んでいる、厳しい削減目標ながらクリア出来た。

【次年度への課題】～「ゴミの分別表」により毎月の種別ごとに排出量の管理・抑制を図っているが、削減目標を記載する等行い削減意識を徹底する。

8.環境経営目標の個々の実績検証と次年度への課題(2)

(2)廃棄物排出量の削減

②リサイクル推進



【実績検証】ゴミ分別の徹底、シュレッダー・みどりのポスト利用促進などリサイクル推進に取り組んでいるが、期末にかけて、多くの可燃・不燃ゴミを排出し僅かに目標を達成できなかった。

【次年度への課題】～期末・年末での多量のゴミ排出(非リサイクル)により目標達成はできなかったが、社員にはリサイクル意識が根付いており引き続きリサイクルを推進する。

(3)水使用量の削減



【実績検証】～基準年からの削減目標は▲18%と厳しいものがあったが、節水意識の定着により何とか目標をクリアできた

【次年度への課題】～次年度も引き続き削減意識の高揚に努め高い目標に挑む。

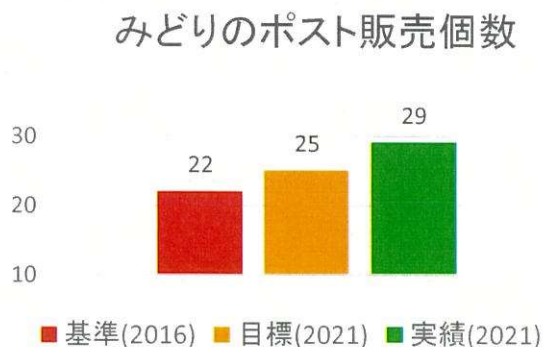
(4)化学物質の適正使用

【実績検証】～洗剤管理表により使用量を管理できた。

【次年度への課題】～次年度も引き続き使用量の管理を確実に行う

(5)環境配慮型製品の販売

①みどりのポスト販売促進



【実績検証】～目標を上回る29個の販売となった。目標達成手段～得意先へのPR・ホームページへの掲載など～の成果。

【次年度への課題】～引き続き「みどりのポスト」の販売促進を行うとともに、環境配慮型商品(洗剤・消毒液)の販売を促進する

8.環境経営目標の個々の実績検証と次年度への課題(3)

(4)環境配慮型製品の販売

②消毒業務への取組推進

【実績検証】～○引き続き「消毒業務体制の維持」を目標とし、スケジュール確保・要員教育・ルール遵守などに努め、安全性と実効性を確保した。
○2021年度(2021/7～2022/6)の実施件数は前年度実施件数(28件)の倍以上の57件。

【次年度への課題】～前々年度、前年度と目標項目として掲げたが、当初の目的(体制構築と維持)が達成できたこと及び新型コロナに対する過度の恐怖感・警戒感が沈静化する方向に向かっていることから消毒業務については日常管理項目とする。

(5)労働生産性向上の取組推進～お掃除ロボットの実用化

【実績検証】～導入先顧客との調整(品質の維持など)や作業員の不慣れ・機械の不調など種々要因で現在中断

【次年度への課題】～コロナ影響等で厳しい状況下にあるが将来を見据えた施策であり、早期に再開できるよう努力する。
☆広島工業大学との『産学連携事業』

(6)SDGsへの取組推進

【実績検証】～代表者の「SDGs開始宣言」、SDGs委員会立上、高校生とのSDGs勉強会開催などを着実に実施。

○【次年度の課題】～年度終盤にかけてSDGs委員会をはじめSDGs活動が停滞した。業務多忙が大きな要因であるが、SDGsについての勉強会を開催するなど、その意義を再確認し活動を活性化させたい。

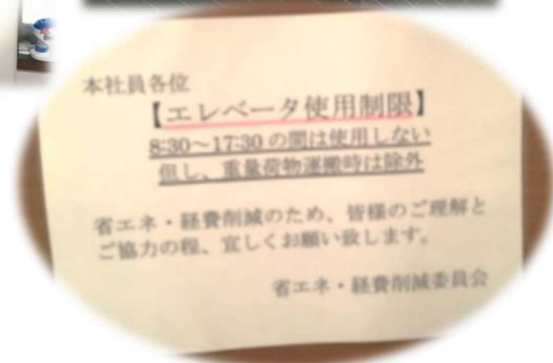
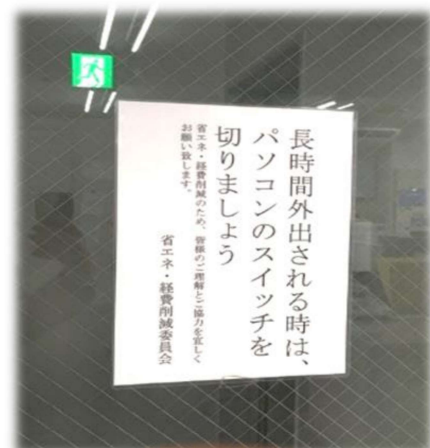
(7)地域貢献

【実績検証】～コロナ影響で地域の清掃イベントが中止か人数制限の参加となり、本社周辺の清掃も再開できていない。

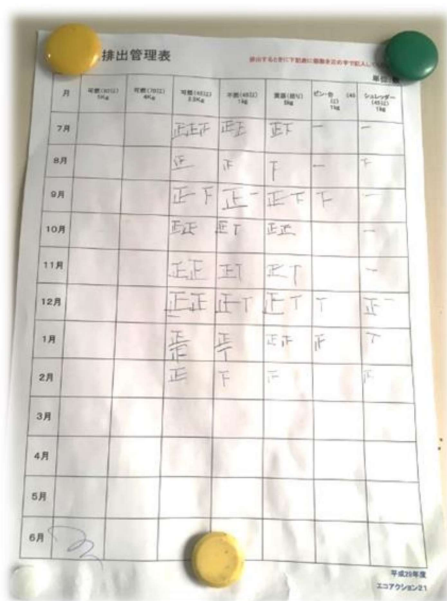
○【次年度の課題】～活動が制限されている中、新たに「定期的な地元学生(高校生・大学生)との交流会(勉強会)の開催を模索中。「ごみゼロクリーンウォーク」も再開次第参加予定。

9.環境保全活動、地域貢献活動など紹介(1)

二酸化炭素排出量削減活動



一般廃棄物削減活動



9.環境保全活動、地域貢献活動など紹介(2)

地域貢献活動



平和公園清掃



会社周辺清掃

消火避難訓練



地元学生(大学生・高校生)との意見交換・勉強会

学生とコロナ禍での就職活動や企業経営について意見交換する川妻社長



高校生に衛生管理やSDGsへの取組について説明する川妻課長



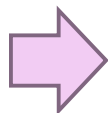
10 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規	要求事項	遵守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)	建築物における衛生的環境の確保に関する事業の登録 衛生的な環境の確保を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る	適
水道法	公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与	適
医療法15条の2	医療関連サービスマーク(院内清掃業務)認定	適
警備業法	警備業の要件、警備業者の責務、登録基準	適
消防法	火災予防措置 火災・地震等災害の被害の権限	適
廃棄物処理法	分別廃棄、収集許可確認 水銀使用製品の保管場所の表示	適
家電リサイクル法	特定家庭用機器の長時間使用と適切な廃棄(エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電気冷蔵庫)	適
グリーン購入法	環境負荷の少ない社会の構築 環境物品等の情報提供 国民の健康で文化的な生活の確保	適
道路交通法	事故防止 エコドライブ推進	適
フロン排出抑制法	フロン類の登録業者による適切な点検回収と簡易点検の実施・記録簿の作成	適
化管法 (PRTR制度)	事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境保全上の支障を未然に防止する。	適

※赤字は法改正等で特に留意しなければならない事項

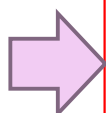
11. 代表者による全体評価と見直・指示

環境経営目標への 取組状況の評価



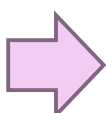
- ①「二酸化炭素排出量の削減」・「廃棄物削減」・「水資源削減」については朝礼・業務研修などで具体的な指示し徹底することで削減意識の高揚を図った。継続実施する。
- ②「環境配慮製品の販売」についても継続実施する。同時に環境配慮型消毒剤をアピールする
- ③社会貢献活動・地域貢献清掃はコロナ影響で目標を達成できなかったが、**新たな取組みとして「学生との対話・勉強会の開催」を開始する。**
- ④掃除ロボットについては計画スケジュールから遅れているが、取組を継続する(産学連携事業)。
- ⑤「消毒業務」については目的(体制構築・維持)が達成されたことから日常管理項目とする。
- ⑥SDGsへの取組を継続する。

環境経営システム 各要素の評価



- ①全事業所対象を継続する。
- ②環境関連法規遵守を徹底する。
- ③「教育体制(啓蒙)」の継続～特に新型コロナウイルスから従業員と顧客を守るための教育を継続実施する。
- ④現場を含んだ内部監査の仕組継続。

見直し(変更の必要性と指示)



- ①「環境経営方針」(2017年版ガイドライン対応)に引き続き「SDGsの取組推進」を掲げる。
- ②**年度終盤「SDGs活動」が停滞したことから勉強会の開催など実施し活性化を図る。**
- ③実施体制は継続する。